

四季折々の桜に思うこと

校長 野田 定 延

3月1日、高校第72回卒業証書授与式を開催することができました。吹奏楽部の「威風堂々」の演奏の中、卒業生が退場し演奏が終了した直後、保護者席から大きな拍手が沸き起こりました。卒業式で拍手が起こったのは、私の教員生活を通して初めての経験です。それには、卒業生への祝福、素晴らしい演奏をしてくれた吹奏楽部への称賛、新型コロナウイルスの感染拡大のなか無事に卒業式ができたことへの安堵の思いが込められていたのではないかと思います。

3月17日の中学校第14回卒業式も在校生不在の式となりました。卒業生だけの「栄光の架橋」の大合唱とともに映し出された14回生の3年間の軌跡に感動しました。中高ともに、素晴らしい卒業式を創ってくれた卒業生の皆さんに感謝したいと思います。高校卒業生からの、合格という嬉しい便りが次々と届いています。ひがしでの学びをもとに、次のステージでのさらなる飛躍を期待したいと思います。

今年も、また立山公園や東風の道に桜が咲き始め、4月に入学する中学校17回生、高校75回生を迎えてくれます。ひがしが新たな一歩を歩み始める日が近づいてきました。桜祭りは中止になりましたが、愛でる人がいてもいなくても不思議なことにその時期になると一斉に花が開きます。皆様の目に今年の桜はどのように映っているのでしょうか。ひがしでの日々が残りわずかとなった私にとって、今年の桜には一抹の寂しさを感じられます。

私が立山公園の桜を初めて見たのは3年前の3月下旬、ひがしに赴任が決まり引継ぎに来た

時です。公園だけでなく東風の道に見事に咲いた桜に、わくわく心が躍ったのを覚えています。桜と言えば花を楽しむことが多いと思いますが、ひがしにいたおかげで四季折々の桜の姿を見ることができました。花が終わった後の葉桜の瑞々しい緑や秋の桜紅葉がこれほど美しいとは思いませんでした。11月初旬からは、毎朝、校門の落葉掃きで苦労しました。冬から春にかけては、日々つぼみが膨らんでいくのを見るのも楽しみでした。

松尾芭蕉に「さまざまの事思い出す桜かな」という句があります。立山公園や東風の道の桜の木が春夏秋冬に見せるその姿に、ひがしの生徒たちの様々な行事でのその時々的一生懸命な顔が重なって思い出されます。入学式、高総体や中総体、九月祭、合唱コンクール、センター試験、卒業式、そして新しい学年、新学期。私はこの3年間、生徒の皆さん一人ひとりが毎日の学校生活を通して自分の目標達成に向けて一歩ずつ前に進んでいく姿を見ることができました。素直で何事にもひたむきに取り組む生徒の皆さんの姿には、大きな感動と力をいただきました。

また、ひがしの教職員は、その生徒たちを育てることに生きがいを感じ、労をいとわない人ばかりです。さらに、ひがしには教育活動を全面的に支えてくださるPTA、同窓会、地域の皆様がいます。私にとってひがしの校長という仕事は、素敵で楽しくやりがいのあるものでした。あらゆる面において支えていただき本当にありがとうございました。ひがしのさらなる発展と生徒の皆さんの頑張りに期待し、お礼の言葉といたします。

主な行事 4月

日	曜	主な行事
1	水	新入生オリエンテーション（中・高）
8	水	始業式・大掃除・入学式
9	木	課題テスト（高全）
10	金	課題テスト（高2・3） 部活動編制（中・高） 生徒会オリエンテーション（中）
11	土	学力推移調査（中2・3）
13	月	朝の読書開始 一次検尿（高） 心電図（中1・高1）
14	火	高校面談週間（短縮授業 ～4/22） 東志行（高1 ～4/16）
15	水	個人写真撮影（中1） 海外語学研修保護者説明会
16	木	全国学力学習状況調査（中3） 内科検診（中1）
17	金	長崎県学力調査（中2 国数）
20	月	個人写真撮影（高1）
21	火	スポーツテスト・身体測定（中・高）
22	水	東志行（中1 ～4/24）
23	木	長崎東安全の日
25	土	スタディサポート（高1） 土曜補習（高2、3）
27	月	胸部X線（高1、職員）
28	火	歓迎遠足
29	水	昭和の日
30	木	考査時間割発表（高2、3） 内科検診（中2）

部活動等の主な結果

【高校】

◆ 美術科

- 交通安全啓発図画・作文コンクール
図画の部入選 2年5組 平 祐輝
- 令和元年度明るい選挙啓発ポスターコンクール
優秀賞 2年2組 大川桃愛
長崎県選挙管理委員会委員長賞
2年1組 松崎木乃実

〈延期となった大会〉

- 第47回九州ジュニアテニス選手権大会

〈中止となった大会〉

- 第17回長崎市総合バドミントン選手権大会
- 第20回鳥栖近隣地区高等学校バスケットボール大会
- 九州共立大学・九州女子大学学長杯高等学校剣道大会
- 令和元年度長崎地区高等学校弓道選手権大会

【中学】

〈延期となった大会〉

- 第42回ライオンズ杯少年サッカー大会

転退任の教職員

野田定延（退職）

【事務】

今 富 明 美（島原翔南高
副主幹事務長）

中上優子（退職）

【中学】

重松真知子（佐世保南高）

本山優子（杵岐高）

片山和徳（退職）

【高校】

岩橋順弘（児童生徒支援課
参事）

岩坪正裕（高校教育課高校
教育班 参事）

松尾敏彦（西陵高）

野口晶子（諫早高）

浦彩子（佐世保商業高）

下田祐（県教育センター高
等教育研修班 指導主事）

内田欣友（佐世保北高）

高濱良有（広島大学附属
中・高 県外交流）

平山優希（上五島高）

海邊興世（豊玉高）

松尾咲子（諫早高定時制）

今、巣立ちのとき ～長崎東高・東中卒業式～

高校3年生

3月1日（日）、第72回卒業証書授与式が挙行されました。担任が呼名をすると、全員大きな声で思いを込めて返事をし、各クラスの代表が校長先生から証書を受け取りました。卒業生代表として答辞を述べた木寺祐貴君は、友人・先生方・家族へ心からの感謝を述べ、最後に「東で培ったものをこれからの生活に活かし、新しい世界でも頑張ることが私たちの感謝の表し方」と締めくくりました。今年は、在校生は出席せず、全体を短縮した形での実施となりましたが、そんなことは感じさせない盛大で素晴らしい式でした。

また、式に先立ち、素敵なサプライズプレゼントがありました。2号館教室と渡り廊下で四季の道をぐるっと囲み、72回生が式では歌えなかった愛唱歌「立山の風に吹かれて」を在校生全員が合唱してくれたのです。1号館教室に待機していた3年生も一緒に合唱し、まさに「東は一つ」となりました。締めは、生徒会長尾上柗人君の力強く凛々しいエールでした。— 思いやり溢れるみなさんの気持ちを受け止め、72回生は無事巣立っていきました。72回生の前途ある未来に光あり！です。



中学3年生

東中14回生は、17日の卒業式で義務教育の課程を終えました。これからは、自分の意思で自分に必要な判断や行動を決定し、その責任を負うという姿勢が求められます。中学時代に様々な経験を経て身に付けた自信や今後の展望をもとに、自分の人生を確実に前進させてほしいと思います。臨時休校のため、3月に予定していたさまざまな活動も中止となり、高校生になることへの十分な心構えができたのか、多少心配もありますが、東高75回生としての今後の活躍を期待しています。



SGH課題研究発表会 高1・2

2月25日（火）、高1・2の課題研究発表会を行いました。12月の中間発表会で選出された班がプレゼンテーション、他の班はポスターセッション（高1・高2国際科）と小グループでの意見交換会（高2普通科）に臨みました。保護者や他校の先生方、そして中学3年生を前にして、緊張も大きかったですが、各班、創意工夫を凝らした発表を行い、SGH運営指導委員の方からも「パンフレットなど、実際に使えるものが作成され、実現度の高い仕上がりになっていた。」との講評をいただきました。



中学1年生

4月の東志行では、集団での共同生活を体験することによって、集団の一員としての自覚と責任を養うことができました。9月の体育祭での東竜門では、厳しい練習に挫折しそうになったこともありましたが、本番では最高の集団演技を披露することができました。また、10月の文化祭の劇「桃太郎」では、心の弱さに勝ち、さらなる高みを目指すことを目標に、学年一丸となって取り組み、素晴らしい成果を収めることができました。11月の合唱コンクールでも各クラスとも練習の成果を十分に発揮し、美しいハーモニーを体育館に響かせてくれました。中学1年生は、このような学校行事、毎日の授業、部活動などを通して、「16 限界突破」の学年目標のもと、精神的にも大きく飛躍できた1年になりました。



高校1年生

「みどりの煌」を3年間の学年テーマ、「ともに生きる」を高1のテーマとして1年間歩んできました。学習や部活動はもちろん、SGHへの取組やグローバルな交流、ボランティアなど多方面に活躍できた1年間ではなかったかと思います。4月からは高校の中堅学年となり周囲の期待も大きくなります。この1年間を上回るよう、さらなる高みを目指して「ともに」頑張りましょう。来年度のテーマは、「俱（とも）に学ぶ」です。



中学2年生

この一年間、さまざまなことに挑戦をする15回生の姿を多く見る事ができました。一から作り上げた文化祭での創作劇、科学の甲子園ジュニア全国大会出場、生徒会役員選挙への立候補、部活動などさまざまな場面で主体的に取り組みました。そして、「凡事徹底」を意識し、行事だけではなく普段の生活を大切に取り組んだことが大きな成長につながったと確信しています。これからもお互いを認め合いながら個性を発揮し、学習に部活動に行事に全力で取り組み、さらに大きく成長してほしいと思います。



高校2年生

東の中核としての自覚を胸に、学年一体となって行事に取り組んだ1年でした。高大連携、SGH、探究活動で進路を意識した学習に励み、学習合宿で受験生になる下準備をし、修学旅行で世界観を広げる等、あらゆる活動を通じてグローバルリーダーとなる素養を育みました。

いよいよ3年生。未来社会へ、翼を広げ飛翔する大詰めの時を迎えました。先輩方からの伝統に、自分達の独自性を色づけし、新しい東高生の姿を後輩に示して下さい。

